

東日本大震災の被災者で、現
地での復興が困難で、農地を営
みたいと考えている方を対象

農地等の提供

要介護・要支援認定を受けて
いる方で、4月1日から9月30
日までに認定有効期間が満了す
る方の有効期間を1年間延長し
ます。なお、有効期間延長の手
続きは不要です。

新しい介護保険被保険者証は
ご登録いただいている郵送先へ
順次発送いたします。

☎健康保険課介護保険係
0243-62-0123

要介護・要支援認定 有効期間の延長

現在、浪江町と南相馬市にま
たがるすべての県道および町道
などが全面封鎖され、これまで

南相馬市側から 立ち入りする際の 注意事項

に、農地を無償で譲渡したいと
の申し出がありました。
ご希望の方は、ご連絡くださ
い。

▽場所 長野県駒ヶ根市内
▽土地 1、470坪
(田、畑、原野、その他)
▽建物 30坪
(昭和46年ごろ建築、木造瓦
葺平屋建)

▽締め切り 5月31日
☎産業・賠償対策課 大和田
0243-62-0123

☎災害対策課放射線対策係
0243-62-0123

▽対象者
浪江町に住所を有する方

▽貸出場所
・浪江町役場二本松事務所
・各出張所

※詳細は、お問い合わせくださ
い。

線量計を 貸し出しています

の南相馬市原町区の検問所(国
道6号)が浪江町との境界に移
動しました。南相馬市側からの
立ち入りの際は、必ず国道6号
の検問所を通過することになり
ますのでご注意ください。

☎災害対策課消防防災係
0243-62-0123

各種母子保健事業・予防接種事業

☎健康保険課健康係 ☎0243-62-0123

乳幼児健診や予防接種等を受けるときには、避
難先の市区町村に申し出ること避難先保健セン
ターまたは医療機関で実施することができます。

	県内	県外
●母子健康手帳交付 ●妊婦健康診査	浪江町で発行します。お電話でお問い合わせください。	避難先の市区町村で交付を受けてください。
●乳幼児健康診査	避難先の市区町村に確認ください。 ※二本松市にお住まいの方は、浪江町役場にご連絡ください。	
●定期予防接種 ・ポリオ ・BCG ・3種混合 ・2種混合 ・日本脳炎 ・麻疹風しん	【ポリオ以外】 福島県内の医療機関において、原則無料で接種できます。 医療機関によって予防接種実施可能な種類や時間帯が定められて いますので、事前に医療機関に連絡の上、接種してください。 【ポリオ】 集団接種(いわき市・伊達市は個別接種) 市区町村によっては、浪江町からの依頼書が必要となること がありますので、そのときはご連絡ください。 ※二本松市でポリオを希望する方は、事前にご連絡ください。	避難先市区町村にご相談ください。 接種費用については、原則無料で接種 できますが、立替え払いが生じる 場合があります。市区町村によっ ては、浪江町からの依頼書が必要と なることがありますので、その時はご 連絡ください。
●任意予防接種 ・ヒブワクチン ・小児用肺炎球菌 ワクチン ・子宮頸がん予防 ワクチン	接種費用が助成されます。 福島県内の医療機関では、原則無料で接種できます。 医療機関によって予防接種実施可能な種類や時間帯が定められ ていますので、事前に医療機関に連絡の上、接種してください。	事前に接種の申請が必要となります ので、ご連絡ください。接種費用に ついては、立替え払いとなります。 領収書・予診票の原本を助成請求書に 添付して申請することになります。 ※助成請求書は、役場にご請求くだ さい。

情報

☎問合せ
☎申込み
☎電話
☎ファックス
☎メールアドレス
☎ホームページアドレス
☎フリーダイヤル

ぴっくあっぷ

+ 仮設津島診療所のお医者さん

☎仮設津島診療所 ☎0243-24-1431

■診療時間 午前 8時30分～12時
午後 13時30分～16時

5月1日(火) 関根・佐藤・手塚
2日(水) 関根・西・手塚
7日(月) 関根・佐川(午後)・手塚
8日(火) 関根・佐藤・手塚
9日(水) 関根・西・手塚
10日(木) 関根・今村・手塚
11日(金) 関根・玉井・手塚
14日(月) 関根・佐川(午後)・手塚
15日(火) 関根・佐藤・手塚
16日(水) 関根・西・手塚
17日(木) 関根・佐藤・手塚
18日(金) 関根・玉井・手塚
21日(月) 関根・佐川(午後)・手塚
22日(火) 関根・佐藤・手塚
23日(水) 関根・西・手塚
24日(木) 関根・今村・手塚
25日(金) 関根・玉井・手塚
28日(月) 関根・佐川(午後)・手塚
29日(火) 関根・佐藤・手塚
30日(水) 関根・西・手塚
31日(木) 関根・今村・手塚
(都合により変更あり)

入学おめでとう



4月6日、浪江小学校で入学式が行われ、ピカピカのラン
ドセルを背負い、新1年生2名が入学しました。
また、同日、浪江中学校の入学式も行われ、新1年生7名が
真新しい制服に身を包み、中学校生活をスタートさせました。

消すまでは 出ない行かない 離れない

4月7日、福島県男女共生センター(二本松市)で浪江町
消防団辞令交付式が行われ、紺野榮重団長から班長以上の幹
部に辞令が手渡されました。



卒業おめでとう

3月23日、浪江小学校で卒
業証書授与式が行われ、卒業
生9名が巣立ちました。

がんばれ!



展示中です

浪江町サポートセンター杉内にある一樹デイサービスセン
ターの利用者約10名がリハビリとして制作した作品が、役場
二本松事務所に展示されています。
細長い画用紙を丸め、二本松を題材に半年かけて制作した
大作です。6月末まで展示予定です。



ありがとうございました



浪江町出身の学生さんが在籍さ
れていることから、本町に寄贈い
ただくことになったものです。



横浜東ロータリークラブ様
(筒見克彦会長)から義援金が
届けられました。ありがとうございました。

避難状況 (4月10日現在)

都道府県	人数	都道府県	人数
北海道	74	三重県	5
青森県	64	滋賀県	1
岩手県	31	京都府	42
宮城県	574	大阪府	69
秋田県	97	兵庫県	31
山形県	286	奈良県	3
福島県	14,218	島根県	12
茨城県	822	岡山県	18
栃木県	377	広島県	16
群馬県	228	山口県	1
埼玉県	825	徳島県	1
千葉県	612	香川県	2
東京都	1,016	愛媛県	14
神奈川県	537	高知県	2
新潟県	680	福岡県	22
富山県	22	佐賀県	5
石川県	51	長崎県	9
福井県	32	熊本県	6
山梨県	69	大分県	4
長野県	59	宮崎県	10
岐阜県	21	鹿児島県	7
静岡県	83	沖縄県	32
愛知県	41	国外	9

「絆づくり」パークゴルフ交流会

パークゴルフで元気を取り戻し、交流を深めましょう。

▽日時

6月3日(日) 雨天決行

▽受付

8時～

▽開会式

9時～

▽競技開始

9時30分～

▽場所

二本松市日山パークゴルフ場

▽参加費

一人1,500円(昼食・抽選含む)

▽参加人員

100名(定員になり次第締め切ります。)

▽競技方法

36ホールストロークプレー

(一部変更あり)

日山コース(9ホール2回)

羽山コース(9ホール2回)

申し込み方法

電話等でお申し込みください。

主催

なみえパークゴルフ協会

共同

浪江町

申請

なみえパークゴルフ協会

会長

長岡 惣一

〒960-8074

福島市西中央5-33-2

グ

ランソレイユ西中央301号

〒960-2602-4696

申請

なみえパークゴルフ協会

事務局

横山 開

〒960-8166

福島市仁井田字西川原9-1

パークシティー桜堤105号

〒960-2279-6072

中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業

被災した中小企業等の施設・設備の復旧・整備に要する費用を補助します。

▽事業概要

被災地域の中小企業等のグループが具体的な共同事業を行い、地域経済や雇用に貢献する復興事業計画を作成し、その計画について福島県から認定を受けた場合に、施設・設備の整備に対して国が2分の1、県が4分の1を補助します。

▽募集期間

5月1日(火)～31日(木)

※詳細は、お問い合わせください。

申請

福島県商工労働部産業創出課

TEL 024-521-7283

つながるこころ

メッセージ 随時募集中

浪江町へ移住した皆さんへ～前進を共有しませんか！～

あの悪夢のような大地震から1年が過ぎました。あつという間の1年というか、長い心労の1年でもありました。

私は、小丸に住んでいた佐野と申します。大地震、そして津波と自然の猛威を嫌というほど感じさせられました。今は、神奈川県横須賀市の息子宅に避難しています。

平成21年3月、私は神奈川県警察を早期退職し、妻と母の3人で浪江町に移住しました。「退職後は田舎暮らしをしよう」と妻と語り、小丸の一軒家を見つけました。昨年の3月11日まで、そこはまさに「桃源郷」でした。

10数軒の集落の方々をはじめ、知り合った数少ない町の方々にも温かく迎えていただきました。

私たち夫婦は、原発事故により人生を破壊されましたが、未だ夢を諦めていません。心温かく風光明媚な浪江町に終の棲家を求め移住なさった皆さん、ご連絡お待ちしております。集まりましょう。

佐野文俊(小丸) TEL 046-897-1445・090-3539-1865

国民年金保険料特例免除

原子力発電所の事故に伴い、避難指示・屋内退避指示を受けた市町村に平成23年3月11日時点で住所を有していた方は、ご本人の申請に基づき、国民年金保険料が免除になります。

※平成23年2月分以降の保険料が対象です。

▷申請期限 平成24年6月末日まで
※3月末日から延長されました。

▷申請方法 国民年金保険料免除申請書を住所地の市区町村またはお近くの年金事務所へ提出してください。代理人が申請や相談をする場合は、委任状が必要です。

※学生納付特例申請は延長の対象となりません。

健康保険課国保年金係 TEL 0243-62-0123

大切な郵便物を受け取るために

旧住所(浪江町)あての郵便物等の転送期間は、郵便局に転居届を出してから1年間です。継続して転送を希望する方や避難先住所が変更になった方は、お近くの郵便局の窓口へ転居届を出しましょう。

なお、浪江町内に住所がある方で、郵便局に「お客様確認シート(避難先届)」を提出している方は、引き続き郵便物等が転送されます。

郵便事業株式会社浪江支店 TEL 080-6026-9724

お誕生

出生届は14日以内に(3月)

こどもの名(性別)	親の名	住所
金子 美夢 女	真也・真希	川 添
松本 絢斗 男	貴智・昌子	酒 田
佐藤 莉愛 女	圭介・彩	権 現 堂
吉田 輝空 男	龍之・知恵	牛 渡
小沢 奏太朗 男	政志・由紀子	樋 渡
佐藤 梨琉 男	清斗・伊緒奈	田 尻
下河邊 龍斗 男	聡・逸美	権 現 堂
山田 愛依 女	紀幸・真由美	大 堀
今井 咲良 女	光保・千晴	権 現 堂
永橋 真心 女	徳也・やよい	田 尻

お悔み

死亡届は7日以内に

死亡者名	年齢	住所
平成23年3月		
門馬 スサヨ	85歳	請 戸
菅 沼 タカ子	84歳	請 戸
館 下 定 正	61歳	両 竹
4月		
門馬 フ子	92歳	末 森
丹 治 賢 藏	86歳	加 倉
高木 明子	58歳	川 添
渡 邊 康 二	85歳	室 原
相 川 安 衛	90歳	室 原
渡 辺 エン	96歳	末 森
鈴木 ヒデ	88歳	井 手
鈴木 アキ	98歳	棚 塩
遠 藤 恵美子	69歳	樋 渡
佐々木 房 男	98歳	川 房
山 崎 巖	84歳	小 丸
泉 田 千壽代	87歳	北幾世橋
山 岡 トキ子	88歳	権 現 堂
門馬 文 夫	77歳	下 津 島
栃 本 つやぶ	88歳	室 原
佐 藤 清 重	90歳	棚 塩
齊 藤 榮 一	78歳	川 添

浪江町への義援金

4月13日現在、877件3億4,343万7,863円の義援金が寄せられています。このうち、2億7,623万5千円が町民の皆さまへ配分されています。皆さまの温かいご支援、ありがとうございます。

原子力損害賠償に係る各種相談窓口

円滑な原子力損害賠償を支援するため国や県などによる相談窓口が開設されています。

福島県

■原子力損害の賠償等に関する問い合わせ窓口

TEL 024-523-1501

▷相談時間 平日 8時30分～20時

*毎週水・金曜日13時～17時は、弁護士による電話での法律相談

弁護士会

■福島県弁護士会

○震災・原発無料電話相談

TEL 024-534-1211 (福島市)

TEL 024-925-6511 (郡山市)

TEL 0242-27-2522 (会津若松市)

TEL 0246-25-0455 (いわき市)

▷相談時間 平日 14時～16時

○震災・原発無料面接相談

TEL 0120-700-791 (平日 10時～16時)

▷相談時間 30分

*面談形式・事前予約制

▷場 所 県内7カ所

(福島市、二本松市、郡山市、白河市、会津若松市、相馬市、いわき市)

○原子力発電所事故被害者救済支援センター

TEL 024-533-7770 (平日 10時～15時)

*原発事故の被災者救済を支援するために弁護士を紹介。3回まで無料。

■東日本大震災電話相談

TEL 0120-366-556

*日本弁護士連合会他主催

行政書士会

■日本行政書士会連合会 被災者相談センター

TEL 0800-800-3200

▷窓口相談 郡山市駅前2-10-13 サンコービル1階

▷相談時間 10時～17時(土日祝日開設。月曜休み)

*原子力損害賠償請求作成支援、被災自動車の抹消登録手続きなど

国

■原子力損害賠償紛争解決センター

TEL 0120-377-155

・東京事務所 (東京都港区新橋1-9-6 COI新橋ビル3階)

・福島事務所 (郡山市方八町1-2-10 郡中東口ビル2階)

*原子力事業者に対する損害賠償請求について、和解の仲介により円滑、迅速かつ公正に紛争を解決することを目的に設置された公的な紛争解決機関。

原子力損害賠償支援機構

■電話相談

TEL 0120-013-814 (10時～17時)

*行政書士による無料相談

■対面相談

*弁護士による無料相談。事前予約制。1回1時間以内

○機構東京本部

TEL 0120-013-814

(東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館5階) 毎週月・水曜日 10時～12時

○福島事務所

TEL 0120-330-540 (9時～17時)

(郡山市駅前1丁目15番6号 明治安田生命郡山ビル1階)

毎週水・金・土(祝日含む) 10時～18時

※県内、県外での巡回個別相談会も実施しています。

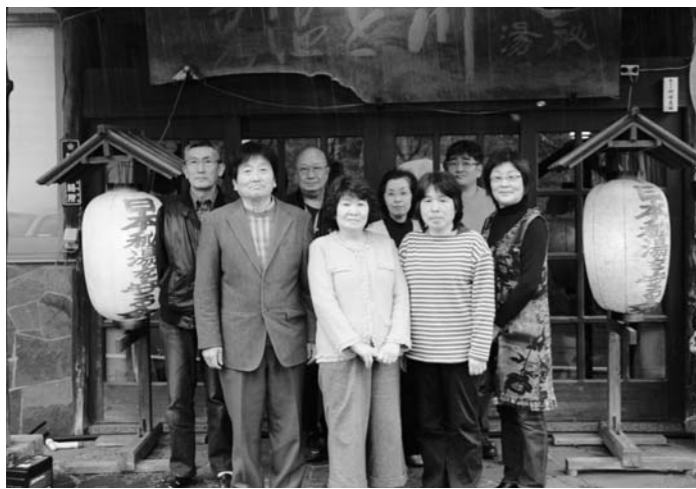


山田 文孝さん・利子さん(井手)

取材者：浪江町役場 長沼・嶋原
取材日：4月11日

心まで温まる川上温泉に皆さんお越してください

浪江町では、奥さまの利子さんとご長男夫婦、三つ子のお孫さんとの7人でにぎやかな毎日を過ごしていた山田さん。現在は、福島市の借上げ住宅で奥さまとの2人暮らしです。今、落ち着いてきた中で、お世話になった方々への恩返しと自分のできるボランティア活動をしていきたいと考えていらっやいます。



▲川上温泉の社長(前列左)、おかみさん(前列左から2番目)と一緒に。(後列一番左が文孝さん、前列右から2番目が利子さん)

■文孝さんのお話
震災で自宅は入れないほどの被害を受けて、家族全員が納屋で一晩過ごしました。翌日から避難生活となりましたが、6カ所目が土湯温泉の旅館、川上温泉で4月17日から4カ月間、夫婦で身を寄せました。川上温泉には、浪江の方が30数人一緒に知り合いもいました。当初は、食事が終わればみんな部屋に戻

る感じでしたが、そのうち全員が何かしらの手伝いをするようになりまし。社長とおかみさんを始め、従業員の方々は4カ月間ずっと変わらない温かいもてなしをしてくれて、本当に心からありがたく、その人柄には驚かされました。一時帰宅の引率のための役場の臨時職員募集があり、社長が募集のパンフを黒板に張りながら勧めてくれたのがきっかけで、7月から週2、3回仕事をしました。朝6時に出勤するのに合わせて、梅干し入りのおにぎりやおかずを作って社長自ら持たせてくれて本当に助かりました。

8月20日に福島市の借上げ住宅に引っ越し、川上温泉を出ました。旅館が忙しいときにはアルバイトとしてお膳の片付けや掃除、布団の片づけなどしています。今までは派遣会社の人材を使っていましたが、2食付で高くつくはずの私たちに声を掛けてくれる気遣いがありがたいですね。2人でお風呂に入り

に行くのも楽しみで、帰りにはお孫と一緒に住めないのは寂し

いですが、浪江に戻りたいと思います。今落ち着いてきた中で考えるのは、これまでお世話になった川上温泉の皆さんに恩返しをしたいということと仮設の見守り隊や草刈りなど自分のできるボランティアをしたいということ。川上温泉は心温かい気持ちのいい人ばかりで、お風呂はのんびりできて最高に安らぐ旅館です。たくさんの方に来ていただいでその良さを味わってほしいと思うのでぜひお越しください。

■利子さんのお話

岳温泉でのボランティア活動で知り合った二本松市の高野津希子さんの紹介で着物のリフォームや知り合いから頼まれて内職をしています。

また、楽しみなのは高野さんからの誘いもあり、安達運動場仮設住宅でのちぎり絵や押し花などの作り方を教えてもらいに出かけて行くことです。

仮設には、何人か顔見知りの方もいて、住んでいなくても「また来てね。」と声をかけてくれるのがうれしいですね。

浪江のこころ通信

・第11号・

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして福島第一原子力発電所の事故により、福島県内外に分散避難した浪江町民。長期化する避難生活、先の見えない不安の中で、町民の皆さんがどのような思いで生活し、ふるさとへの思いを抱いているのか。

こうした町民の思いをつなげるために、“浪江のこころプロジェクト”が立ち上げられました。東北圏地域づくりコンソーシアム推進協議会(※)が中心となり、全国各地のNPO、大学等の皆さんが取材を進め、浪江町との連携のもと「浪江のこころ通信」が編集・発行されます。

浪江のこころプロジェクトは、分散避難している町民の皆さんの声を「浪江のこころ通信」を通してお届けし、ふるさと浪江町がかつての暮らしを取り戻すことへの願いとこだわりを発信・共有しようとするものです。

※東北圏地域づくりコンソーシアム推進協議会は、東北圏(7県)の地域コミュニティ再生や協働のまちづくりの推進を目的として、大学、NPO、企業、経済団体、行政等が連携したコミュニティ支援ネットワーク。仙台が本拠地。

「浪江のこころ通信」第11号への感想をお寄せください。

【連絡先】〒976-0904 福島県二本松市郭内一丁目196-1
男女共生センター内 浪江町役場二本松事務所
「浪江のこころ通信」宛
FAX.0243-22-4261

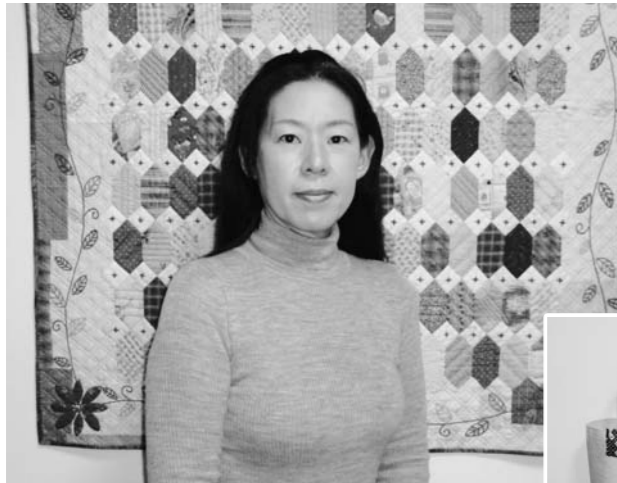




小泉 泰代さん(川添)

取材者：地域社会デザイン・ラボ 遠藤
取材日：4月19日

浪江の復興は、小さな取り組みの積み重ねから



▲趣味のパッチワークキルトをバックに

▶避難先の青森県むつ市で習い創った「こぎん刺し小物」



震災後は、いわき市に1カ月、青森県むつ市に3カ月避難した後、8月から仙台市太白区に在住。仙台市在住の知人が少ないため、少し心細い日々を過ごされているそうです。

震災直後は、近くに住んでいる知人に助けられ車に同乗して避難。そして宿泊までさせていただきました。また、避難先のむつ市では、近くの工房に大変お世話になり、くだものの摘み取りや海の幸を楽しみに、よく連れ出してもらったものでした。当時はどう動いていいかわかり

ませんでした。だからこそ今、改めて感謝しているところです。現在は、仙台市太白区に住んでいます。地下鉄の駅にも近く便利。美術館に行ったり、唯一の仙台在住の知人と会って話をしたり、娘が住む二本松市や実家の家族が避難しているいわき市に出かけたりしていると、あつというまに日々が過ぎていきます。私にとっては、近くに住んでいた親友と離れたことが今でもショックです。子育ての楽しさや苦勞をともにしてきましたが、ようやく子どもも親元を巣立ったので、ちょうど一緒に旅行に行ったりさまざまな楽しみの計画を考えていたところだったからです。こんなはずではなかった、という思いでいっぱいです。浪江を離れたからこそ思うのは、自分は浪江しか知らないんだな、帰りたい気持ちでいっぱいだな、ということ。きれいな海や山、自然がいっぱいあり、いい町です。昨年は、二本松市を会場に復活し開催した十日市に行ってみました。浪江で開催していたときよりは小規模

でしたが、懐かしく楽しめました。このように小さくてもいいから裸参りや大堀相馬焼のせと市もぜひ実施してほしいなと思います。祭りを絶やさないで若い人たちに頑張ってもらいたいです。私の娘は二本松で仕事をしています。夫からは、姉妹みたいな親子だな、なんて言われたりもします。彼女は、震災を機に一人暮らしをし、日々初めてのことに挑戦し、頑張って仕事をしています。そんな様子を見ると「復興を担う大事な一人だな」と感じるとともに、たくましくそして心強く感じ「頑張れ！」と応援したくなります。だからこそ、私もグチを言わず頑張ろうかな、と思えるのです(笑)。



NPO法人 コーヒータイム 理事長 橋本由利子さん(川添)

取材者：浪江町役場 長沼・嶋原
取材日：4月11日

コーヒータイムがみんなの希望に

心に障がいを持った方々の環境を整えて、自立の手助けをしていた就労継続支援施設コーヒータイムは、昨年10月に二本松で再オープンしました。再開によって生き生きとした表情になったという利用者の皆さん。新たに二本松の利用者さんが加わったことでここで根を張っていきたくと話してくださいました。

震災当日に利用者さんをすべて自宅へ送り届けることができませんでした。その後、スタッフを含めみんなそれぞれ避難生活を送っていました。5月に利用者さんとその家族、スタッフ、支援者が二本松で集まり今後の打ち合わせをしました。話し合いで、「再開しよう。しなくちゃだめだよ。」と後押しされ、さて、どこで再開するかとなり、利用者さんから「役場がある二本松だろう。」という声が上がりがびつくりしました。私自身は、浪江に近い所だと思っていましたし、実はそのとき、誰も二本松に住んでい



▲スタッフの皆さんと一緒に (橋本さん：後列真ん中)

なかつたのです。再開することを決め、商工会や役場に再開場所を探す協力してもらいました。二本松駅前の市民交流センターにある杉乃家さんの隣が空いているという連絡がきて、7月にまたみんなで集まったとき見学に行きました。キッチンを見た利用者さんがすごくいい顔をしていて、家賃は大変ですが、ここでやろうとみんな決めました。大堀にあるコーヒータイムから、手作りのテーブルやイス、大堀相馬焼のコーヒーカーップを運ぶなど準備をして、10月17日に町長、商工会会長も出席のもと開所式を行いました。スタッフ3人は全員単身赴任ですが、自分も動かないとおかしくなりそうだったし、みんなにとってもどこかで始まることは希望や目標になると思えました。浪江では、ビザ生地、うどん、やきそばも作っていました。このキッチンが手狭なので福島市や近隣の作業所からお菓子などを仕入れて販売しています。咲織コースターやハワイアンストラップは手作りしての販売です。また、大堀相馬焼の展示や二本松出身の菅野伝授さんの絵の展示、絵葉書も販売しています。

お店は、スタッフ3人、非常勤1人、利用者さん9人でやっています。利用者さんは全員が毎日ではなく体調と気持ちに折り合いをつけながら働いています。不安はそれぞれ抱えていると思いますが、表情は生き生きとしています。県外やいわき市などに避難して、コーヒータイムに来られない方も連絡を取っていて、いつでも遊びに来てくださいと話しています。「ここでやっていると待っているよ。」と発信しています。また、利用者さんには、震災を機にひとつだけチャレンジさせませんか自立のためのひとり暮らしも勧めたいです。再開して一番良かったことは、みんなの希望になったことです。これまでは、お店を開くことで一杯でしたが、今は、次は何が必要かななどと考えることができるようになりました。これからは、浪江と二本松の情報発信の場にもしていきたいですね。夢や希望を語れるようになったので、夢は大きく、みんなが描いたイラストの「ゆめのお城」のような事務所やのんびり作業できるスペースのあるみんなの居場所も作りたと思っています。

連絡先一覧

- 浪江町役場二本松事務所
〒964-0904
福島県二本松市郭内一丁目196-1
(福島県男女共生センター内)
TEL 0243-62-0123 FAX 0243-22-4261
- 浪江町役場二本松第二事務所
〒964-0904
福島県二本松市郭内一丁目81
FAX 0243-23-7970
- 浪江町教育委員会 TEL 0243-62-0301
- 二本松連絡所 TEL 0243-62-0302
- 福島出張所
〒960-8601
福島県福島市五老内町3番1号
(福島市役所9階西側)
TEL 024-535-0750 FAX 024-535-0753
- 本宮出張所
〒969-1203
福島県本宮市白岩字堤崎494番地22
(本宮市役所白沢総合支所1階)
TEL 0243-44-1185・1186
FAX 0243-44-1187
- 桑折出張所
〒969-1611
福島県伊達郡桑折町字東大隅18番地
(桑折町役場2階)
TEL 024-582-2130 FAX 024-582-2135
- いわき出張所
〒970-8026
いわき市平字堂根町1番地の4
(いわき市文化センター2階第4会議室)
TEL 0246-24-0020 FAX 0246-24-0026
- 南相馬出張所
〒975-0039
南相馬市原町区青葉町2-62-2
(旧東北農政局福島農政事務所南相馬統計・
情報センター)
TEL 0244-23-1112 FAX 0244-23-1114
- 浪江町議会事務局
〒964-0917
福島県二本松市本町一丁目60番地の2
(安達地方広域行政組合自治センター2階)
TEL 0243-22-9531 FAX 0243-22-9532
- 浪江町社会福祉協議会
〒964-0904
福島県二本松市郭内一丁目81
(浪江町役場二本松第二事務所内)
TEL 0243-62-0877 FAX 0243-23-7970
- 仮設津島診療所
〒969-1404
二本松市油井字長谷堂230番地
TEL 0243-24-1431

町内モニタリングポスト測定結果

文部科学省で町内42箇所設置したモニタリングポストの測定結果をお知らせします。なお、測定結果情報はホームページで閲覧できます。

* 文部科学省放射線モニタリング情報

URL <http://radioactivity.mext.go.jp/map/ja/>

問 文部科学省
原子力災害対策支援本部
TEL 03-5253-4111

(4月15日0時現在 単位: $\mu\text{Sv/h}$)

測定地点	測定値	測定地点	測定値	測定地点	測定値
津島小学校	5.8	津島活性化センター	1.1	小野田集会所	2.5
津島中学校	2.4	昼曽根屯所	16.9	酒井集会所	4.1
浪江高等学校津島校	11.4	新町ふれあい広場	0.6	室原公民館	4.8
浪江(中央公園付近)	1.0	川添葉山会館	4.0	立野中多目的集会所	5.3
幾世橋(幾世橋小学校付近)	0.4	樋渡牛渡集会所	3.9	苅宿公民館	3.8
浪江ひわまり荘	3.3	高瀬多目的集会所	0.8	加倉集会所	3.4
手七郎集会所	10.4	幾世橋集会所	0.3	藤橋消防屯所	0.9
大柿簡易郵便局	14.9	浪江町公民館幾世橋分館	0.2	羽附集会所	0.8
家老集会所	8.9	北棚塩総合集会所	0.2	大字津島集会所	2.6
赤宇木集会所	10.2	棚塩集会所	0.1	南下コミュニティーセンター	7.6
大堀小学校	3.9	大字請戸集会所	0.1	葛久保集会所	12.1
苅野小学校	5.3	中上ノ原町宮住宅	3.5	陶芸の杜おおぼり	15.9
浪江町役場	0.1	井手多目的研修センター	8.5		
小丸多目的集会所	29.6	田尻集会所	2.1		



発行・編集 福島県浪江町役場復興推進課

福島県二本松市郭内一丁目196-1男女共生センター内
TEL 0243-62-0123代 FAX 0243-22-4261
<http://www.town.namie.fukushima.jp>